

2026年9月4日

各 位

会社名 株式会社ハートアップ
(コード番号510A TOKYO PRO Market)
代表者名 代表取締役 辻 榮 勇人
TEL 0942-65-3081
URL <https://hup2015.com/>

TOKYO PRO Marketへの上場目的の開示について

当社は、放課後等デイサービス事業を中心に、障がいのある子どもたちの成長と自立を支援するサービスを提供しております。TOKYO PRO Marketへの上場を通じた事業基盤の強化、企業価値の向上及び持続的な成長を実現するため、当社の上場目的及びその実現に向けた取り組みについて、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. TOKYO PRO Marketへの上場目的

当社は、「笑顔の起点になる」という経営理念のもと、放課後等デイサービス事業を中心とした障害福祉サービスを展開しております。子どもたちが自立に向けて楽しみながら成長できる「サッカー療育」等の独自プログラムを通じて、子ども一人ひとりの個性と発達段階に寄り添った支援を提供してまいりました。近年の発達支援ニーズの高まりに応え、地域社会に必要とされる質の高いサービスを安定的かつ継続的に提供し、企業としての持続的な成長と強固な経営基盤を確立するため、TOKYO PRO Marketへの上場を通じた以下の目的達成を図ることといたしました。

(1) 企業としての社会的信用力・知名度の向上

上場企業としての客観的な信用力を獲得することにより、ご利用者様およびそのご家族（保護者様）への安心感の提供に加え、行政機関、特別支援学校等の教育現場、相談支援事業所をはじめとする地域関係機関との連携を一層深化させ、地域社会から深く信頼されるインフラ企業としての地位を確立すること。

(2) 専門人材および将来の幹部候補の採用・定着力の強化

児童発達支援管理責任者、保育士、理学療法士等の専門資格保持者や教室責任者候補の採用において、上場による高い社会的認知度を活かした母集団形成を推進すること。

併せて、職員が専門性を高め安心して長期的にキャリアを形成できる職場環境・評価体系を整え、エンゲージメントの向上と定着を促進すること。

(3) 計画的な事業所展開による事業基盤の強化

当社独自の療育モデルと運営ノウハウを活かし、需要の高い地域への計画的なドミナント出店（事業所展開）を進めることで、より多くの利用者に支援を届けるとともに、スケールメリットを活かした強固かつ安定した収益基盤を構築すること。

(4) サービス品質の標準化とコーポレート・ガバナンスの高度化

上場企業に求められる内部管理体制、コンプライアンス体制及び労務管理体制の整備・運用を徹底し、事業所運営の標準化と療育サービスの質的向上を両立させ、規律ある組織基盤を確立すること。

(5) 地域貢献と持続的な企業価値の最大化

事業所展開、人材への投資、ガバナンス強化を一体的に推進し、子どもたちの自立支援を通じた社会課題解決への貢献と、企業としての持続的な成長を両立させ、中長期的な企業価値の最大化を図ること。

2. 上場目的の実現に向けた取り組み及び実現状況の評価

(1) 企業としての社会的信用力・知名度の向上

TOKYO PRO Marketへの上場を通じて、上場企業としての社会的信用力及び知名度の向上を図り、今後も適時・適切な情報開示を徹底するとともに、当社の事業内容や地域における活動について積極的に発信し、企業認知度の向上に取り組んでまいります。

(2) 専門人材および将来の幹部候補の採用・定着力の強化

放課後等デイサービス事業の安定的な運営及びサービス品質の向上に向け、児童発達支援管理責任者、保育士、児童指導員、理学療法士等の専門人材の確保及び育成に取り組んでまいります。上場企業としての信用力を採用活動に活かし、採用チャネルの拡充を図るとともに、研修制度やキャリア形成支援の充実、働きやすい職場環境の整備を進め、優秀な人材の定着及び将来の幹部候補の育成につなげてまいります。

(3) 計画的な事業所展開による事業基盤の強化

地域における放課後等デイサービスへのニーズを踏まえ、各地域の需要、採用環境及び収益性等を総合的に検討しながら、計画的な事業所展開を進めてまいります。既存事業所における運営ノウハウを新規事業所へ横展開するとともに、開設後の早期安定稼働を図ることで、事業基盤の強化及び持続的な成長を目指してまいります。

(4) サービス品質の標準化とコーポレート・ガバナンスの高度化

事業所の拡大に伴ってサービス品質にばらつきが生じないように、支援内容や業務手順等の標準化を進め、定期的な事業所監査及び内部チェックを実施してまいります。また、上場企業として求められる内部管理体制、コンプライアンス及びリスク管理体制を継続的に

強化するとともに、取締役会等による適切な監督機能を確保し、透明性及び健全性の高い経営体制の構築を進めてまいります。

(5) 地域貢献と持続的な企業価値の最大化

放課後等デイサービス事業を通じて、障がいのある子どもたちの成長及び自立を支援するとともに、保護者や地域社会が抱える課題の解決に貢献してまいります。事業所展開、人材への継続的な投資及びサービス品質の向上を通じて、地域社会への貢献と収益力の向上を両立させ、持続的な成長及び企業価値の最大化を目指してまいります。

なお、実現状況の評価について、当社は2026年2月にTOKYO PRO Marketへ上場したところであり、現時点で実現状況の評価を実施するに至りませんが、今後上場企業として、上場目的の実現状況について、毎年1回以上評価し、その結果を適切に開示してまいります。

3. 現状の課題及び今後の方針

事業数の拡大スピードに対し、教室を統括する管理職・幹部候補人材の育成及び配置が最優先の課題となっております。また、他拠点展開に伴う各事業所間での療育プログラム品質均一化、独自療育のエビデンス強化、ならびに人事評価制度のさらなる刷新についても、重要な対処課題であると認識しております。これらの課題を踏まえ、当社は以下の方針に基づき上場目的の具現化を加速してまいります。

(1) 人材への戦略的投資と育成体制の抜本的強化（最優先課題）

採用活動のさらなる強化に加え、管理職育成研修の充実やキャリアステップに連動した人事評価制度の刷新を推進します。職員が笑顔でやりがいを持って働けるWell-beingな職場環境を整備し、組織全体の支援力と定着率の向上を図ります。

(2) 療育サービスの品質向上と計画的な事業所展開

「サッカー療育」をはじめとする支援プログラムの科学的エビデンスの蓄積や大学・専門機関との連携を視野に入れ、サービス品質のさらなる高度化を推進します。その強固な支援品質を基盤として、地域ごとのニーズに即した計画的な出店を継続し、事業規模の拡大を進めます。

(3) ガバナンスとコンプライアンス体制の継続的進化

事業規模の拡大に即した内部統制機能の強化、ハラスメント防止を含むコンプライアンス教育の徹底を進め、社会から信頼され続ける健全かつ高水準な経営管理体制を維持・発展させます。

(4) 持続的な企業価値の向上と将来的な成長基盤の確立

障がい児支援を通じた地域社会への貢献を事業成長の源泉と位置づけ、事業拡大と

経営基盤の強靱化を両立させることで、ステークホルダーの期待に応える持続的な企業価値の向上を実現してまいります。

なお、本資料に記載された内容は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の今後の業績、事業展開又は経営方針について確約するものではありません。

以上